

# 水色の天使

～ちょっとドライな天使のお話シート～  
「金色の封筒」

青年は亡くなった母親の枕元でしきしくと泣いていました。

自分が伝染病をうつしてしまったことの後悔が止みません。

青年は小さい時から母親と二人暮らしで、この春から社会人として仕事を始めようやく母親に少し樂をさせてやれる、恩返しができると思っていた矢先のことでした。青年は自分が母親を死なせてしまったと涙が止まりません。

のまま一生後悔し続けるだろうと思った時、

目の前がぱッと明るくなり、水色の天使が降り立ったのでした。

天使は青年にとても変わった形をしたメガネを渡しました。

青年はそのメガネをかけてみると・・・

母親の胸元に今まで無かった金色の封筒が現れたのでした。

その封筒の中身を開けて見ると、母親の生まれてから今日までのことが

書き綴られていました。

青年「えっ！これは？」

天使「お母様が生まれる前に書いた今回の人生計画書ですよ。

ほぼ計画書通り完了したようですね」

青年は最後のページをじっくりと読んで驚きました。

死後に枕元で息子が泣き、水色の天使に会って金色の封筒を開けることまで書いてある。

青年「これも計画通りだったんだ」

天使「そうです、あなたのせいでは無いのですよ」

青年から顔色が戻ってきました。そして青年はふと自分の胸元にも金色の封筒が見えることに気が付き思わず開けてみました。ざっと目を通して驚きました。

今までの人生で起こったことがその通りに書き綴られていたのです。

天使「そうなのです。みんな生まれる前に計画書を書いてこの金色の封筒に入れて

持ち歩いているのです。そして計画書の通りに生きているのです。

せっかくなので最後までお読みになりませんか？」

青年は目を閉じて静かに考えて、今日以降のページは読まずに封筒を閉じました。

天使「読まないのですね。それは賢明です。読んでしまうと先ほど以上に

苦しい人生になったことでしょう。」と言しながら空に消えていきました。

作者：鳥越介順

# あだやか あせ藏



Vol.180

2020年5月

作者：鳥越介順

コロナの影響で  
いろいろと大変なことと思いま  
す。何とか乗り切ります！

# お別れのことば

ステイホームの最中に妻が「コロナ感染で急変して亡くなる時は家族とお別れできないみたい。私もいつ感染するか分からぬから今のうちにお別れのことばを言っておくわ」と。そして「今まで本当にありがとうございました。幸せな人生でした。(いろいろなことを)」

それを聞いた私も「ぼ、ぼ…ぼくも今までありがとうございました」少ししみたりとした不思議なひとときでした。お別れのことばは早めに言っておくべきですね。

# 安心配するよ 大事なあなた

介順

今まで  
日々の困難やいたずら  
を出でさせていた。  
今日の前にある困難を  
これから現れる問題も  
必ず何とかなる。

